

環境保全コスト (単位：百万円)

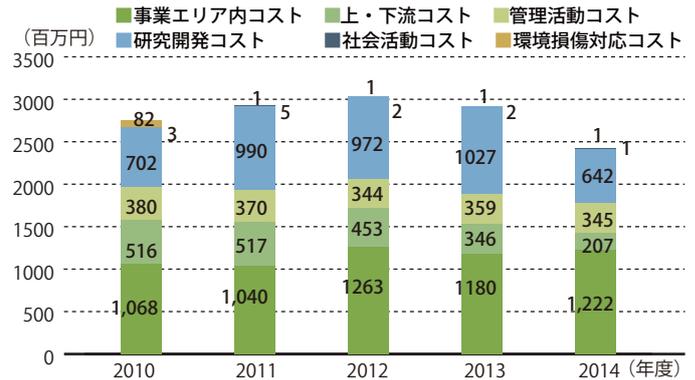
分類	主な取り組みの内容	古河電工		関係会社
		費用額	前年度比	費用額
(1) 事業エリア内コスト	大気汚染など公害防止、省エネ、廃棄物処理など	1,222	42	520
(2) 上・下流コスト	梱包・ドラム回収など	207	-139	258
(3) 管理活動コスト	環境マネジメントシステム監査、環境負荷監視など	345	-15	108
(4) 研究開発コスト	環境調和製品開発、有害物質代替検討など	642	-385	72
(5) 社会活動コスト	緑化、地域清掃、寄付金など	1	-1	3
(6) 環境損傷対応コスト	環境負荷賦課金、汚染土壌浄化処理など	1	-0	0
合計		2,418	-497	961

注) 環境保全コストの関係会社については、対象会社(24社)が前年度と異なるため、前年度比は算出していません。

投資額および研究費 (単位：百万円)

投資額及び研究費	金額	
	古河電工	関係会社
環境関連投資額	327	345
投資額総額	11,198	3,922
研究費総額	7,240	2,481

環境保全コスト (古河電工)

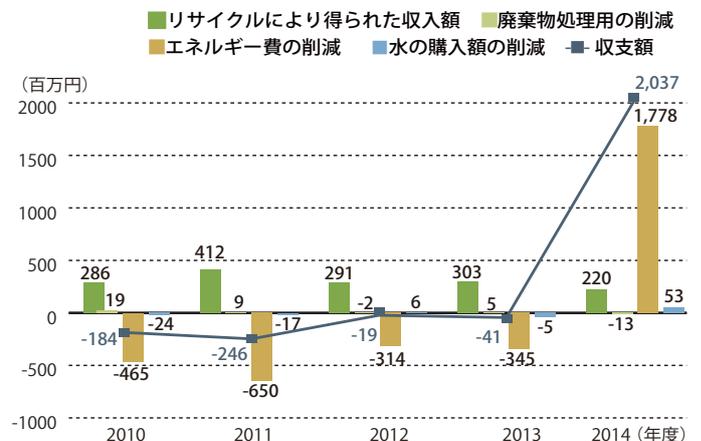


環境保全対策に伴う経済効果 (単位：百万円)

効果の内容	金額	
	古河電工	関係会社
リサイクルにより得られた収入額	220	487
廃棄物処理費用の削減額	13	39
エネルギー費の削減額	1,778	-284
水の購入費の削減額	53	-23
合計	2,037	220

※-(マイナス)は増加を表します。

環境保全対策に伴う経済効果額 (古河電工)



環境保全効果

環境負荷排出量	単位	古河電工		関係会社
		環境負荷量	削減量	削減量
産業廃棄物処理量*)	t	208	91	235
エネルギー投入量 (原油換算)	千KL	119	19	1
水使用量	千t	19,133	-772	-72
揮発性有機化合物排出量	t	152	40	4
CO2排出量	千t-CO ₂	218	30	3
SOx排出量	t	27	19	1
NOx排出量	t	104	-5	-0
ばいじん排出量	t	4	1	0

*) 再資源化産業廃棄物を除く量
 ※-(マイナス)は増加を表します。

環境関連投資額および費用額の推移 (古河電工 + 関係会社)



P R T R対象物質一覧表（古河電工グループ、古河電工含む）（単位：トン）

物質番号	化学物質名	取扱量	排出量	移動量	製品含有・ 燃焼消減量
1	亜鉛の水溶性化合物	3.6	0.0	0.4	3.2
31	アンチモン及びその化合物	389.3	44.0	89.8	255.5
53	エチルベンゼン	4.9	0.1	0.2	4.6
71	塩化第二鉄	38.4	0.0	17.1	21.3
75	カドミウム及びその化合物	95.6	0.0	3.4	92.2
80	キシレン	17.4	2.5	0.6	14.3
82	銀及びその水溶性化合物	11.9	0.0	0.0	11.9
86	クレゾール	137.8	0.2	6.7	131.0
87	クロム及び三価クロム化合物	13.6	0.0	0.1	13.5
88	六価クロム化合物	4.8	0.0	3.8	1.0
132	コバルト及びその化合物	3.1	0.0	0.1	3.0
144	無機シアン化合物	21.0	0.0	1.7	19.2
213	N,N-ジメチルアセトアミド	188.0	0.1	9.4	178.5
232	N,N-ジメチルホルムアミド	18.7	0.1	0.9	17.7
239	有機スズ化合物	1.8	0.0	0.0	1.8
255	デカプロモジフェニルエーテル	289.7	0.2	0.5	289.0
272	銅水溶性塩	10,378.7	0.1	36.7	10,341.9
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	18.5	0.1	0.0	18.4
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	1.2	0.2	0.1	1.0
300	トルエン	214.3	112.1	31.6	70.5
305	鉛化合物	27,634.9	0.1	4.1	27,630.7
308	ニッケル	589.6	0.0	6.9	582.7
309	ニッケル化合物	104.9	0.0	14.6	90.2
332	砒素及びその無機化合物	10.4	0.0	0.0	10.4
333	ヒドラジン	5.2	0.0	0.0	5.2
349	フェノール	102.1	0.1	5.0	97.0
355	フタル酸ビス	198.7	0.0	0.2	198.5
374	ふっ化水素及びその水溶性塩	7.3	0.0	5.6	1.7
384	1-ブロモプロパン	2.6	2.6	0.0	0.0
392	ノルマル-ヘキサン	2.0	0.1	0.4	1.6
405	ほう素及びその化合物	2.4	0.8	0.5	1.1
412	マンガン及びその化合物	8.2	0.0	0.0	8.2
438	メチルナフタレン	68.9	0.3	0.0	68.5
合計		40,589.5	163.9	240.5	40,185.2

* グループ全体で取扱量1トン以上（特定第一種指定化学物質は0.5トン以上）の物質を対象

当社の石綿含有製品一覧

更新日 2008年3月27日

用途分類	製品名	使用部位など	製造期間	使用石綿種類	対策状況
電線・ケーブル及び付属品	アスベストシース	MI ケーブルのシース	1969～ 1989年	白石綿(クリソタイル)	1989年以降グラスウールを使用
	配管フランジパッキン	水冷却設備配管接続部	1977～ 1997年	白石綿(クリソタイル)	1997年以降ノンアスベスト品を使用
	アスベスト系編組またはアスベストテープ付キャブタイヤケーブル	外部耐熱層	1977～ 1987年	白石綿(クリソタイル)	1987年以降ノンアスベスト品に変更済
	水冷ケーブル用アスベストテープ付ゴムホース・ゴムスペーサ	外部耐熱層	1976～ 1983年	白石綿(クリソタイル)	1983年以降ノンアスベスト品に変更済
	水冷ケーブル用アスベストテープ付 FRP スペーサ	外部耐熱層	1976～ 1995年	白石綿(クリソタイル)	1995年以降ノンアスベスト品に変更済
	防水シール材料(エポキシパテ)	・高圧ケーブル用中間/終端接続部 ・上記防水箱(海外) ・PE 管接続/端末 ・空港照明用機器	～2000年	白石綿(クリソタイル)	2004年以降ノンアスベスト品に変更済
			2000～ 2004年	トレモライト(含有量 0.01%以下)	
	22・33kV プレハブ接続部	接続部の防水処理部	～1988年	白石綿(クリソタイル)	1988年以降ノンアスベスト品に変更済
	22・33kV 気中終端箱	接続部の防水処理部	～1988年	白石綿(クリソタイル)	1988年以降ノンアスベスト品に変更済
	管路口防水装置	防水処理部	～1988年	白石綿(クリソタイル)	1988年以降ノンアスベスト品に変更済
	ダンシール P		1978～ 1984年	白石綿(クリソタイル)	1984年以降ノンアスベスト品に変更済
	ケイカライト S,SG		1976～ 1985年	茶石綿(アモサイト)	1985年以降ノンアスベスト品に変更済
	ダンネッカ		1973～ 1982年	白石綿(クリソタイル)	1982年以降ノンアスベスト品に変更済
ケイカライト H		1976～ 1987年	茶石綿(アモサイト)	1987年以降ノンアスベスト品に変更済	
自動車関連製品	エンジン用ワイヤーハーネス/アスベストシート	ハーネスに巻き付け	1983～ 1989年	白石綿(クリソタイル)	1989年製造中止